

学部横断型のプロジェクト

「企業の社会的責任」 大陽ステンレスなど協力

武蔵大学（清水敦学
長）は先般、「学部横断
型課題解決プロジェクト」として、異なる学部
の学生が1つのゼミで協
力して作成した、CSR
（企業の社会的責任）報
告書の発表会を開いた。



CSR報告書を発表する学生

同プロジェクトは、自己管理能力、チームワーク、リーダーシップの向上を目指すもの。3か月かけて大陽ステンレススプリング（本社・三原台1、横山正二社長）など4社を作成した。

大陽ステンレスは国内外で金属部品の製造・加工を行う「理系」の企業。担当した16人の学生は「文系学生の私達にとって身近でない企業を知る」というコンセプトで、経済、人文、社会各学部の視点を活かしながら作成にあたった。

報告書は、同社の企業理念をベースに、調査した内容をまとめた。

学生たちは「社会人としての基礎力を養うことができた」と、同社の協力が感謝。横山社長は「社内からでは気づかない、学生のフレッシュな視点が良かった」と、評価していた。